

夏季研修報告

◆研修内容

- A 将来、地域の中で安定した生活が送れるために ～砂川厚生福祉センターつばさでの取り組みについて～
- B 支援学校で使われている教材の紹介、授業紹介
- C 子どもの課題と支援 ～認知機能トレーニングに着目して～
- D 来校相談
- E 計画相談支援とは？ ～教職員のための理解と実践～
- F アミューの自己肯定感プログラム

◆研修の様子

研修 A (グループワーク)



研修 B (本校の教材紹介)



研修 C (コグトレ)



教材展示



アンケートの紹介 (抜粋)

- 研修 A：子どもたちの将来や、今何に取り組むべきかを考える良い機会となりました。
- 研修 B：発達段階や特性に応じた課題の設定や教材作りの大切さを改めて感じました。
- 研修 C：以前から実施していましたが、改めてコグトレのねらいや使い方の具体的なお話を聞いてとても勉強になりました。
- 教材展示：作ってみよう、やってみようと思う教材が多数ありました。

研修Dにおける相談は10件でした。支援教育部以外の先生で相談対応を希望された先生にも担当して頂きました。

研修Eでは、キャリアサポート部主催のもと「サービス利用支援」や「継続サービス利用支援」に携わっておられる「障害者・児生活支援センターあっぷる」の山本弘志先生にご講義いただきました。

研修Fは、キャリア教育の観点での研修として、キャリアサポート部が主催して「一般社団法人アミュー」の岩崎先生にお話をいただきました。自己肯定感を高める支援を軸に行われている就労移行支援や自立訓練（生活訓練）、就労定着支援の実際についての内容でした。

今夏の研修には、校内外合わせて490名の先生方にご参加頂きました。たくさんの先生のご協力、ご参加に改めて感謝申し上げます。